

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにもきをつけましよう。

① □^{ていきあひ}が□^{らごう}してきた。

② □^{げんいん}をつき□^{とめる}のは□^{ようい}では

ない。

③ □^{しえい}の□^{たいいくかん}の□^{ばしよ}を□^{うつす}。

④ □^{かかく}では、□^{りえき}は□^{のぞめ}ない。

⑤ □^{やさしい}□^{もんだい}から□^{はじめ}。

⑥ おじは□^{ぼうえきぎよう}を□^{いとなむ}。

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにもきをつけましよう。

① □^{たい} そう^{みごと} □^{せんしゆ} が、 □^{おう} えん^{だん} □^{せい} の □^{せい} え

んに □^{みごと} な □^{えんぎ} で □^{こたえる} 。

② □^こ きようの □^{さくら} を □^{みる} のは □^{ひさし} ぶ

りだ。

③ □^{じんこうえいせい} は □^{えいきゆう} に □^{つかえる} わけ

ではない。

④ □^{びようぎ} のために □^{ながい} ねむりについた。

⑤ □^{えきたい} が □^{かがくはんのう} を □^{おこす} 。

⑥ □^{えぎ} から □^{がつこう} までの □^{みち} を □^{おうふく} する。

国語 五—三 (書き)	第五学年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
-------------------	--------------	----	---	---	---

取り組んだひ	月	にち
--------	---	----

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① じょうりゆう じょうりゆう
から から
かこう かこう
に に
むかう むかう
。

② せんせい せんせい
に に
ひきい ひきい
られて られて
かりこうしゃ かりこうしゃ
から から
しんこうしゃ しんこうしゃ
へと へと
うつる うつる
。

③ かぶんすう かぶんすう
を を
たいぶんすう たいぶんすう
に に
なおし なおし
て て
かいとう かいとう
する。 する。

④ こころよい こころよい
がふく がふく
かいせい かいせい
の の
ひ ひ
に、 に、
かわら かわら
す(じ)す す(じ)す
で で
。

⑤ かこ かこ
を を
かえる かえる
ことは ことは
ふかのう ふかのう
だ。 だ。

⑥ かくりつ かくりつ
の の
もんだい もんだい
を を
とく とく
。

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① □の□の□を□に□。

② □の□を□、□にあせをか。

③ □で□た□を□の□。

□で□。

④ □クラスに□。

⑤ □の□が□の□をすす。

める。

⑥ □な□を□。

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

①

□こうえんに□よりみちして□さかあがりの
□れんしゅうを□をする。

②

□せいかくな□ちゅうには□たしかな□ちじゅうが
□ひつようだ。

③

□きしゆくしやの□きそくを□まもる。

④

□ひがしの□ぎやくの□ほうがくが□にしだ。

⑤

□ながれに□さからうよう□あるく。

⑥

□きゆうしきの□きかいを□あたらしくする。

国語 五一六 (書き)	第五学年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
-------------------	--------------	----	---	---	---

取り組んだ日 月 日

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① きのよかのののひとのちのいのちは

きんし
だ。

② むだん
で
きようかいせん
をこえることは

ゆるぎ
れない。

③ みせ
が
ある
となりとののひやくえんきんいつの

こがたせん
。

④ ながたへいよう
で
を
こうかい
する。

⑤ なつ
をテーマに
いっく
よむ。

⑥ ちよきん
だいすぎ
なくるまのものをけい
を
かう
ために

する。

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① よい けいけん ができた かんしや する。

② ちち が せいめいほけん に かにゆう する。

③ へや をできる かぎり せいけつ に たもつ。

④ ながい じかん を へ じけん は かいけつ

した。

⑤ たち ぼくしや いら いがい の かた の がっこうない の へ の を せいげん している。

⑥ みち の せいぎ の だいはっけん までは、 けわしい のりだった。

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① とうじん に こうじんてき ななやみを そうだん する。

② はらを へらし た くま が ひとぢんに であられる。

③ げんざい の せいじ の ありかた を かんがえる。

④ げんりよう に とり くん だ こうか が である。

⑤ くすり が きん て、 いのち が すくわ れた。

⑥ きゆうきゆうしや が いえ の きんじよ に ていしや した。

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① くわを□
□
て□
を□

② □と□の□を□

③ □の□は□で□

④ □の□の□に□がある。

⑤ □する□に□を

□。

⑥ □な□を□。

⑦ □の□に□は□の□

から□ふんしている。

次の文の□に当てはまるかんじを書きましよう。送りがなにも気をつけましよう。

① □^{きらいげつ}に□^{ふたたび}□^{けつえき}を□^{とつ}て

□^{けんぎ}します。

② □^{じゅうご}の□^{さいがい}に□^{たいおう}できるように

□^{そなえる}。

③ □^しは□^{りょうび}の□^{じゅんび}をしている。

④ □^{かんじ}の□^{せん}テストの□^{せうてん}をする。

⑤ □^{せんせい}は□^{あいさいか}として□^{ゆうめい}だ。

⑥ ゆう□^{しやうしや}が□^{しやうひん}をもらって□^{ちゆうぎ}。

国語 五十一 (書き)	第五学年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
-------------------	--------------	----	---	---	---

取り組んだ日 月 日

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① みずうみ の しめうい を さんぽ する。

② つみ をみとめ、 しやせご する。

③ ぞうきばやし に かこみ れた とち に いえ を たてる。

④ さんそ を はっせい させる じっけん をする。

⑤ ぎつぜん とした へや をきれいにする。

⑥ その ていあん に さんせい です。

国語 五十二 (書き)	第五学ねんの漢字(書き)	名前	ねん	組	番
-------------------	--------------	----	----	---	---

取り組んだ日	月	日
--------	---	---

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① □^{えだ}を□^{ゆるさえる}よう□^{しじ}を□^{だす}。

② □^{おおざかふ}の□^{ししや}に□^{しゅつちやう}する。

③ □^{きやうし}への□^{みち}を□^{こころざす}。

④ □^{しやうねん}よ、□^{たいし}をいだけ。

⑤ □^{ひつよう}な□^{しりよう}を□^{しめす}。

⑥ □^{たかい}□^{こころざし}をもつて□^{しごと}をする。

国語 五十三 (書き)	第五学年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
-------------------	--------------	----	---	---	---

取り組んだ日	月	日
--------	---	---

送^{おく}りがなにも気^きをつけましょう。
 次^{つぎ}の文^{ぶん}の□に当^あてはまる漢^{かん}字^じを書^かきましよう。

① □^{いみ}の□^にた□^{ことば}がないか□^{しらす}。

② □^{かいぬし}が□^{しいく}のた^ちめの□^{しき}を□^み

につける。

③ □^{あに}は□^{ものしりはかせ}と□^{いわ}れて^いる。

④ □^{あたらしい}で□^{いっしや}を□^{じめがよう}を□^{うける}。

⑤ □^{あし}の□^{せいかつ}につ^いて□^{せんせい}に□^{しつもん}

をする。

⑥ □^{ちんごん}を□^{そごぞん}する。

国ご 五十四 (かき)	第五がく年の漢字 (かき)	名前	年	組	番	とり組んだ日 月 日
-------------------	---------------	----	---	---	---	------------------

次の文の□に当てはまる漢字をかきましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① □を□、□りよう□を

□
□。

② □するので、□の□を

かける。

③ □してくれた□にお□を

□。

④ □と□について□する。

⑤ □のかばんを□て□する。

国語 五十一 五 (書き)	第五学年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
------------------------	--------------	----	---	---	---

取り組んだ日 月 日

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① おののを。

② ののを。

③ ののをに。

④ なのにかざる。

⑤ をてかくれる。

⑥ するためのを。

こく語 五十六 (書き)	第五学年の漢字 (書き)	名前	年	くみ	番
--------------------	--------------	----	---	----	---

取りくんだ日 月 日

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① じぶん の けんこうじょうたい を つね に
たしかめる。

② じょうしきはずれ の なさけ ない こうどう
だ。

③ そしきない じょうほう を きょうゆう
する。

④ がいこく から てっこうせき を ゆにゆう
する。

⑤ きはちじょう はちじょうじま つたわる おりもの
だ。

⑥ しよくにん が て ぎわよく ぬの を おる
。

こく語 五十七 (書き)	第五がく年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
--------------------	---------------	----	---	---	---

取り組んだひ 月 にち

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① □の□を□。

② □の□が□ている。

③ □は□に□だ。

④ □の□が□、やがて

⑤ □では□の□がものを

□。

⑥ □の□について□。

国ご
五十八
(かき)

第五学年の漢字 (かき)

名前

年

組

番

取り組んだ日
月 日

次のぶんの□にあてはまる漢字をかきましょう。
送りがなにもきをつけましょう。

① は、 パーセン

トだった。

② のある にキャプテンを

よう。

③ ですぐれた をおさめる。

④ に をつけて を 。

⑤ に を 。

⑥ の を ない。

国ご
五十九
(書き)

第五がく年の漢字 (書き)

名前
年
組
番
取り組んだ日
月
日

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① □の□をとらえる。

② つい□を□てしまう。

③ □のピンチだ。

④ □を□ていたが□に

□された。

⑤ □は□を□して□から□

した。

⑥ □はなし□あい□の□を□もうける□。

国語 五―二十 (書き)	第五学年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
--------------------	--------------	----	---	---	---

取り組んだ日 月 日

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① □^{えんそく} が □^{いんしょう} に □^{のこい} ている。

② □^よ の □^{なか} の □^{もんだい} を □^{そういごうてき} に

□^{かんがえる}。

③ □^{きさくごうば} でロケットの □^{ぶひん} を □^{せいぞう} している。

④ □^{さけ} は □^{こめ} から □^{つくら} れている。

⑤ インド □^{ぞう} を □^{ほし} する。

⑥ □^{てら} の □^{ほんごう} に □^{おしごい} を □^{おく} 。

国語 五十二 (書き)	第五学年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
-------------------	--------------	----	---	---	---

取り組んだ日 月 日

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① □みず かさが □まし た □ばあい に □そなえ て

□どて を □きせう 。

② □きそく を □ふやす 。

③ □はは が □いえ の □ぞうちく を □ちち に □ていあん する。

④ □どう メダルをかく □とく できて □ゆめ のようだ。

⑤ □こたえ を □みちびき □だす 。

⑥ □せんせい の □しどう で □やきゆう に □むちゆう になる。

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① □^{すいがい}を□^{ふせぐ}。

② □^{かくど}を□^{はかる}。

③ □^{ふそく}の□^{じたい}に□^{そなえる}。

④ □^ちいきの□^{どうろ}を□^{せいび}する。

⑤ □^{ぼうさいくんれん}に□^{さんか}する。

国語 五十二十三 (書き)	第五学年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
---------------------	--------------	----	---	---	---

次つぎの文ぶんの□に当あてはまる漢字かんじを書かきましよう。
送おくりがなにも気きをつけましよう。

① □ただしい □ほんだん □を □くだす。

② □こころ □が □ゆたか □になる。

③ □みず □が □ほうふ □な □とち □で □のうぎやう □を □いとなむ。

④ □ひようばん □の □よい □べんいし □をやとう。

⑤ □わかる □さがして □いた □ひと □の □いばしよ □が

□。

⑥ □むかし □の □じゆぎや □について □しらべる □。

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① □^{そん}をしないように □^{かいもの}をする。

② □^{にがて}な □^{がくしゅう} □^{ないよう}を □^{ふくしゅう}する。

③ □^{はは}は □^ち □^{いぎの} □^{ふじんかい}に □^{ぞく}している。

④ □^{りえき}を □^{あげる}ための □^{どりよく}を □^{つづける}。

⑤ □^{のうりじいき}に □^{しゅう}をする。

⑥ □^{てきせつ}な □^{ことば}を □^{えらん}で □^{はなす}。

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① □^{ともだち}に□^{ほん}を□^{かす}。

② □^{つみ}をにくんで□^{ひと}をにくまず。

③ □^{ぼうはんきょうしつ}で□^{まなん}だことを□^{ぼうこく}する。

④ □^{せいどうき}の□^{ふくせいひん}を□^{しゅつぴん}する。

⑤ □^{たいど}を□^{ほりゆう}する。

⑥ □^{はる}のおとずれを□^{つげる}。

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① けんこう を たもつ ために ぼういんぼうしよく はし

ない。

② うま が あばれる 。

③ ぎりになじよう を たいせつ にする。

④ くわしい せつめい は しょうりやく します。

⑤ かいぎ を ひこうかい で おこなう 。

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① チームの□を□。

② □をわたる。

③ いくつかの□を□する。

④ □の□を□。

⑤ □の□につく。

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① きん □ は □ の □ だ。

② タンポポの □ が □ 。

③ □ を □ 。

④ □ で □ の □ を □ 。

⑤ □ から □ を □ する。

国語 五―二十九 (書き)	第五がく年の漢字 (書き)	名前	年	組	ばん
---------------------	---------------	----	---	---	----

取り組んだ日 月 日

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① □_め が □_{こえる}。

② □_{りょうしん} の □_{がいしゅつちゆう} は、 □_{おとうと} と □_{るすばん}

をする。

③ □_{うつくし} □_{いどり} が □_め に □_{とめる}。

④ □_{あね} は □_{かいがい} への □_{りゆうがく} を □_{きぼう} している。

⑤ □_{いさぐ} を □_{せいけつ} に □_{たもつ}。

こく語
五―三十
(書き)

第五がく年の漢字 (書き)

名前

年 組 番

取り組んだ日
月 日

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

①

□

くわまてい

□

むしやにんぎょう

をかざる。

②

□

たしやう

の □

せいしん

を □

まなぶ

。

③

□

びん

ぼうくじは

□

ひき

たくない。

④

□

まずしい

□

いえ

に

□

うまれ

たもの、

□

どりよく

して

□

せうじ

した。

⑤

□

じこく

の

□

りやうご

を

□

まめる

。

国語 五十三十一 (書き)	第五学年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
---------------------	--------------	----	---	---	---

取り組んだ日 月 日

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① □ すいでん に □ ひりよう をまく。

② ほしかつた □ が □ はかく のねだんで □ て に

□ はいる。

③ オリンピックの □ きんぐ を □ やぶる。

④ □ こえ た □ とち に □ やぎ を □ うえる。

⑤ □ はたけ に □ こえ をやる。

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① □_{こめん}に□_{こおり}が□_{はる}。

② □_{ちほう}の□_{してん}に□_{しゅつちよう}する。

③ □_{しあい}を□_{ちゆうだん}する。

④ 「□_{ほとけ}の□_{かお}も□_{さんど}」と□_{おしえ}られる。

⑤ この□_{てい}には□_{ふるご}□_{ちうざう}がある。

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① □^{かぞく}で□^{はかまいり}に□^{いく}。

② □^{いろ}の□^{たいひ}が□^{うつくしい}□^{かいが}。

③ □^{あに}とせい□^{くちへ}をする。

④ □^{せいこう}する□^{かのうせい}が□^{たかい}。

⑤ □^{ひとのいふ}をつぶやく。

⑥ □^{ぼぜん}に□^{はな}をそなえる。

次の文の□にあてはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① むずかしい □ を □ ゆうをもつて

□。

② ガスをほり □ きよ □ の □

を □。

③ □ の □ でマフラーを □。

④ □ を □。

⑤ □ な □ は □ だ。

国語 五―三十五 (かき)	第五学年の漢字 (かき)	名前	年	組	番
---------------------	--------------	----	---	---	---

取り組んだ日 月 日

次の文の□に当てはまる漢字をかきましょう。
送りがなにも気をつけましょう。

① ひこうぎのねんりようがふそくする。

② おとうとひゃつかてんでまごいになつた。

③ しよくどうでなにをたべるかまよう。

④ にわでおさばを、いもをやく。

⑤ せいかくにかいとうをかきこむ。

⑥ キャンプでまきをむす。

国語 五―三十六 (書き)	第五学年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
---------------------	--------------	----	---	---	---

取り組んだ日 月 日

次の文の□に当てはまる漢字を書きましよう。
送りがなにも気をつけましよう。

① の を する。

② を きのこを ないように
 する。

③ のまう となつた。

④ にアルプス が 。

⑤ を た を 。